

料之儀も、別紙之通申渡候、右人參望之者は、勝手次第製法所江請取ニ參リ可申候、

丁未十一月

朝鮮種人參制法所ニ而、相渡候代料左之通、

上人參壹貫目ニ付、代銀七匁五分、並人參壹貫目ニ付、代銀五匁、

割人參壹貫目ニ付、代銀四匁、肉肝人參壹貫目ニ付、代銀三匁、

細髭人參壹貫目ニ付、代銀貳匁、

但並肉肝髭ハ、小半貫包迄相渡、割ハ五分包迄相渡筈ニ候、

右之通ニ候事

〔市中取締書留十ノ八十八〕

他國産人參之儀ニ付申上候書付

竹本主水正

竹田伊豆守

今般、朝鮮種人參實蒔聽シニ罷成候ニ付、向後賣捌之儀、吹上奉行より、藥種屋共相糺候處、當時問屋名目組合と相唱候儀、難相成候ニ付而は、諸品取引等未海陸共取締相立不申候ニ付、斤數多相捌候儀、見越候而難申上候得共、御製法人參之儀は、厚御趣意、兼而難有存込罷在、殊ニ取扱馴候事故、夫々申合賣捌可申候得共、此後、他國産之人參、諸國江相廻り、直々賣買仕候而は、自ら御製法捌方ニ差障候之趣申出候段、掛りより申立候、右他國産人參之儀は、天保二卯年頃より、他國ニ多分作出し、致賣買候ニ付、御製法捌方ニ差障候間、奥州、雲州、其外作元御仕法相立候様、其頃申上候得共、御沙汰無之、追々作出し、御製法之御趣意も薄く罷成候間、一ト先、文化度之通、他國産人參不相混様取捌、諸國迄御趣意相届候様、町奉行所ニ而申渡有之候様、同四巳年申上候處、同年町觸は有之候得共、賣買御差留と申ニも無之候事故、彌繁茂仕、自然御製法人參不捌ニ付、寛政二戌年以前